

事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成30年3月29日

事業所名 スパークスタジオ京都左京店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別運動療育、集団、相談室等、各活動に合わせた十分なスペースを確保できています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる配置数に加え、指導員を一名以上配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		情報量が的確かどうか、利用者様に合わせて療育道具の量を変えています。トイレ等バリアフリー化も行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日清掃・消毒を行っています。清掃チェック表を元に今後も確認を行っていきます。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員ミーティングを定期的に行い、問題解決や業務改善に努めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	今後定期的に相談室にて面談を行っていく予定です。今後頂いた意見等は書式化し、業務改善につなげていきます。	開業して間が無い為今は意見書等がありませんが、今後そのような場を設けていきたいです。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所向け自己評価は公開していきます。保護者向け評価表が、開業したばかりで今はない状態ですので、今後公開していきたいと思います。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は第三者による外部評価は行っていませんが、今後検討していきたいと思っています。	開業して間が無い為今は外部評価を受けていませんが、今後そのような機会があれば外部評価を受けて業務改善につなげていきたいです。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修を行い、常に職員の資質向上が図れるようにしています。また、本部からのOJTも定期的に行っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成していきます。また、当社統一のアセスメントシートを使用しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿った内容で運動療育を提供していきます。今後も職員間で定期的にミーティングを行い、ガイドラインに沿った計画がなされているか確認していきます。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		必ず個別支援計画を職員間で確認し、設定された短期目標、長期目標に沿った療育を提供していきます。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		必要に応じ利用者様の事例を共有・議論するケース会議を行っています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用者様一人ひとりの特性や興味に合わせ、楽しく運動できるように心掛けています。	

	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを元に長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を作成しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育に入る前に必ず本日の療育計画を共有するようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		療育終了後にその日の様子を共有し、また、次回どのようなアプローチをすればより効果的かを話し合っています。	
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日の療育の様子を必ず記録に残しています。また、改善点に関しては別の書式で残すようにしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3か月に一度、若しくは半年に一度はモニタリングをし、支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		現状はまだないですが、今後必要に応じて主には児童発達管理責任者、若しくは管理者が参加していきます。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		今はまだそのような連携を取る機会がありませんが、必要に応じて各関係機関と連携を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		今はまだそのような連携を取る機会がありませんが、必要に応じて各関係機関と連携を行っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		契約時に主治医の有無を確認しています。また提携病院がありますので、必要に応じて連携を行います。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		未だ移行するケースはありませんが、保護者の同意を得た上で円滑に情報提供や引継ぎを行います。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		未だ移行するケースはありませんが、保護者の同意を得た上で円滑に情報提供や引継ぎを行います。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		北部障害者地域自立支援部会・児童部会など、地域の活動に積極的に参画しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		地域の保育所等へのあいさつ回りをしています。また、今後機会があれば積極的に交流を深めていきたいです。	
	29	(自立支援)協議会児童部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		北部障害者地域自立支援部会・児童部会など、地域の活動に積極的に参画しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者様も療育の場に居合わせて頂くことが多いので、随時状況や課題については話し合いながら療育を進めています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		療育後に必ずフィードバックを行い、本日の療育のねらいや、自宅での接し方の方法について随時相談しています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に運営規定と利用者負担額等について、説明しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画作成後、保護者様に説明し、同意を得ています。疑問を持たれた場合にはアセスメントからとり直し、作成していきます。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		療育後のフィードバックで出た悩み等に関して、対応していきます。必要であれば日を設けて相談を行っていきます。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今はまだ保護者会等の開催はありませんが、今後人数が増えればそういった機会を設けていきます。	開業して間がないので、今は保護者会等の開催はありませんが、今後要望があれば行っていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		そういった相談があった場合迅速かつ適切に対応できるように常に心掛けています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		今はまだ開業したばかりで、行事等の予定はありませんが、今後行う場合は事前に周知していきます。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類は鍵付き書庫に保管しています。また、廃棄書類はシュレッダーで処理をしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者様・保護者様の状態に応じて視覚的情報などを活用して意思疎通・情報伝達等に努めています。	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		現在はまだ行事等の企画がないのですが、今後企画することがあれば、地域に開いていければと思います。	開業して間がないので、行事がありませんが、今後検討していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し、研修を定期的に行うようにしています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回の避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約の際に確認をし、またてんかん発作が起こった際に対応方法に関して研修も行っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約の際にアレルギーの有無を確認しています。食事提供が無い為今はそのような機会がありません。	食事提供は今後も行う予定はありませんが、引き続きアレルギーの有無に関しては契約時に必ず確認していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットが発生した場合には、ヒヤリハットの報告書を作成し、職員間で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを作成し、研修を定期的に行うようにしています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		通所の個別療育であるため該当事例はありませんが、虐待防止については職員の研修も行っています。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。